

令和6年度 城山小学校自己評価報告書

＜自己評価報告書を作成するに当たって＞

- ・学校関係者評価アンケートの項目にそって、「学校の自己評価」「保護者・地域のアンケート調査」「児童のアンケート調査」等の分析から、次年度の改善点の方向性を示しています。
- ・「とても思う」「思う」の評価を肯定的な評価として受け止め、分析や考察に活用しています。
- ・児童調査アンケートは、毎年5・6年児童を対象としています。

重点目標

- ① 自分の力を生かす。 ② 互いを認め合う。 ③ とにかくやってみる。

基本方針1 児童が主体的に学び、新たな知を創造する学習活動の構築

基本方針2 集団づくりを通じた協働的な教育活動の推進

基本方針3 一人一人に応じた教育活動の推進

基本方針4 保護者、地域と共に育つ教育活動の推進

基本方針5 児童の健やかな心身の育成

重点目標に対する具体的な方策

- ① 基本方針1 児童が主体的に学び、新たな知を創造する学習活動の構築

(1) 評価結果 ○は成果といえる評価 ●は課題となる評価

【保護者アンケート調査から】	
○本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	(83.5%)
○本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている。	(79.4%)
○本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	(72.5%)
○学ぶことが楽しい。	(75.0%)
●本校は、子どもに目標を持たせ、その実現のために支援している。	(62.2%)
●本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	(53.8%)
●本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	(52.8%)
【児童のアンケート調査から】	
○授業では、考えたことや話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	(96.5%)
○先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	(93.0%)
○先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	(89.6%)
○先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	(87.1%)

○学ぶことが楽しい。	(75. 0%)
【学校の自己評価から】	
○課題（めあて）について、児童に考えさせたり、友達と考えさせたりする時間を授業の中でとっている。	(93. 4%)
○考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会を設けている。	(93. 3%)
○児童が主体的に学び、新たな知を創造する学習活動の構築に努めている。	(86. 6%)
○黒板の書き方やプリントなどを、工夫している。	(93. 3%)

(2) 考察

保護者アンケート調査からは、授業での子どもが課題解決する場面や間あけを交流することについて、昨年度同様賛同いただいていると考えられる。一方、黒板の書き方やプリントなどを工夫している、という点においては数値が低下していた。タブレットに比重が移ってきていることとの関連があるかもしれない。

児童のアンケート調査からは、概ね高評価であることがうかがえる。

(3) 改善案

教員の黒板を活用した指導力（板書計画等）や各種プリントやICTを活用した指導力は、昨年度から取り組みを重ねてきているところだが、それぞれの良さをバランスよく組み合わせていくことが大切と考え、これからも継続・充実させていく。また、校内研究については「自立した学び手の育成」をテーマに掲げ、探究的な学びの推進、主体的に取り組む学習指導の工夫、個別最適な授業を推進していくことについて、今後も積み重ねが必要であると考え。

このような取り組みを地域や保護者に機会あるごとに発信していき、ご理解をいただけるよう努力を積み重ねていくことが重要である。

② 基本方針2 集団づくりを通じた協働的な教育活動の推進

(1) 評価結果 ○は成果といえる評価 ●は課題となる評価

【保護者アンケート調査から】	
○学校行事は、子どもにとって楽しい。	(96. 4%)
○学校行事は、子どもにとって達成感がある。	(91. 6%)
○本校は、子どもの意欲を大切にしている。	(87. 5%)
●本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	(64. 6%)
●本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	(42. 8%)
【児童のアンケート調査から】	
○目標をもち、その実現に向けて努力している。	(85. 7%)
○自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	(91. 0%)
○学校行事は楽しい。	(90. 9%)
○学校行事は達成感がある。	(83. 1%)
○先生は、児童の意欲を大切にしている。	(93. 5%)
【学校の自己評価から】	
○目標をもたせ、その実現のために支援している。	(86. 7%)
●自分の生き方や将来のことについて考える授業をしている。	(73. 4%)

○集団づくりを通じた協働的な教育活動の推進に努めた。	(100.0%)
○一人一人に応じた教育活動の推進に努めている。	(86.6%)

(2) 考察

今年度の運動会や学芸会などの学校行事で、保護者から90%以上の肯定的評価を得ている。また児童からも80%台くらいの肯定的評価があり、本校の学校行事はよい成果を挙げていると捉えられる。特に児童から「先生は、児童の意欲を大切にしている」項目に90%以上の評価があり、とてもよい成果と言える。その一方で、保護者からは、目標をもたせたり、自分の未来を考えたりするキャリア教育に関わる項目では、70%以下と課題がある。授業の改善を図るとともに、児童が楽しみながら体験できる集団活動や学校行事等の活動の振り返りから、次の活動に今回の経験をどのように生かすのか、自分のこれから大人になった時にどのように役立つのか具体的にイメージさせていくことが必要と考える。

(3) 改善案

今年度の運動会や学芸会では、昨年同様児童の主体的な取り組みや充実した学習の振り返りが見られた。今後の学校行事での経験を今後の活動に生かしていく。

キャリア教育に関しては、自己の学習経験や身につけたことをどのように活用していくかという点に視点を置き、日々の学習や行事等で得た経験をそこで終わらせることなく、未来へとつなげていく視点を教員と児童がともにもって取り組みを重ねていくことが必要である。

③ 基本方針3 一人一人に応じた教育活動の推進

基本方針4 保護者、地域と共に育つ教育活動の推進

(1) 評価結果 ○は成果といえる評価 ●は課題となる評価

【保護者アンケート調査から】	
○子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	(79.9%)
○本校は、集会やとも遊び(たてわり班活動)等を推進し、子供たち同士の関わり合いを大事にしている。	(91.4%)
○本校は、あいさつや望ましい言葉遣いを、継続して指導している。	(82.3%)
○お子さんは、学校でのことを家族によく話している。	(82.5%)
○本校は、子どもの意欲を大切にしている。	(87.5%)
○校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	(92.8%)
○本校の教職員は、ていねいに取り組んでいる。	(85.1%)
●本校は、保護者・地域の声や願いにこたえる教育活動を積極的に行っている。	(74.2%)
●本校は、「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。	(29.3%)
【児童のアンケート調査から】	

○私は、自分からすすんで集会やとも遊び等に参加している。	(%)
○私は、気持ちのよいあいさつを心がけている。	(%)
○私は、学校でのことを家族によく話している。	(72. 9%)
○私は、言葉のつかい方（相手を傷つけないなど）に気を付けて話している。	(%)
○私は、寝る時間、起きる時間を決めるなど、規則正しい生活を心掛けている。	(50. 5%)
○私は、学習道具、宿題や提出物を忘れないようにしている。	(%)
○私は、タブレットを正しく（調べる、まとめる、悪口を書きこまないなど）活用している。	(77. 4%)
○私は、先生や友達の話や発言を最後まで聞くようにしている。	(90. 3%)
○私は、自分からすすんで自分や友達の考えを伝えあったり、自分の考えを深めたりしている。	(74. 6%)
○先生たちは、ていねいに指導してくれる。	(90. 3%)
○先生たちに相談できる。	(79. 1%)
●私は、自分からすすんで外遊びをしたり、体を動かしたりしている。	(68. 8%)
●区立中学校に関する情報が提供されている。	(65. 0%)
【地域の方へのアンケート調査から】	
○学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子がわかる。	(100. 0%)
●学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	(61. 3%)
●「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	(54. 8%)
【学校の自己評価から】	
○健やかな心身の育成に努めた。	(95. 0%)
○一人一人に応じた教育活動の推進に努めた。	(86. 6%)

（２）考察

保護者・児童アンケート調査からは、ともに「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報が提供されているという点において数値が低かった。情報提供が少なかったことと、学び舎の取組が縮小傾向にあることが関係しているものと考ええる。

児童のアンケート調査からは、寝る時間、起きる時間を決めるなど、規則正しい生活を心掛けていくという点において数値が低かった。体力向上の観点からも、自分からすすんで環境を改善していくという考えを持たせる必要がある。

外遊びをしたり、体を動かしたりすることに対しては70%以下と、これらの点においても改善が必要である。生活習慣や学習態度などについての教員のていねいな指導に対しては、保護者も児童からも概ね肯定的評価をしている。しかし、児童の自らを振り返った生活面での評価については一考を要する。

（３）改善案

「学び舎」の区立（幼稚園）中学校について情報体力向上については、それに関する会合であったり連絡会などがあった場合にそれを発信していくことが一つの方法である。運動期間を設定したり、保健の計測時に実施される授業について、その場で終わらせるのではなく、今後自分はどうしていきたいか考えさせることも必要であると考ええる。体力面においては、引き続き体を動かす楽しさを実感できる取り組みを行っていく。児童主体で取り組むために縄跳び期間の設定やケンステップ、投

てき板、グラウンドの整備などを行い、校庭環境や教材教具を整えていったことは、保護者アンケートの「子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。」の数値に現れていると思われる。継続していきたいところである。児童の人の話を聞くことや自律した生活態度の育成は、児童と教員との信頼関係の構築がその基本であるという考えのもと、肯定的な評価になっている。

規則正しい生活に基づく大人になってからの健康について考えさせる「体力面でのキャリア教育」という指導も必要と考える。

④ 基本方針5 児童の健やかな心身の育成

(1) 評価結果 ○は成果といえる評価 ●は課題となる評価

【保護者アンケート調査から】	
○学校だよりや学校ホームページなどを通して、学校の様子がよくわかる。	(87.5%)
○本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	(91.9%)
●本校は、保護者・地域の声や願いにこたえる教育活動を積極的に行っている。子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	(63.6%)
○本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	(93.1%)
○本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	(69.2%)
○本校は、地域の活動などに協力的である。	(67.8%)
●本校は、地域に情報を提供している。	(62.2%)
○本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている。	(47.9%)
【地域の方へのアンケート調査から】	
○学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる。	(100.0%)
●「学び舎」の活動について、情報が提供されている。	(54.8%)
○学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	(80.7%)
○学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	(87.1%)
●地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	(87.1%)
○地域の人や施設を教育活動に活かしている。	(77.4%)
●学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	(61.3%)
●学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	(71.0%)
○学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	(83.8%)
○学校公開や学校で行われている行事などに、参加したい。	(90.9%)
【児童のアンケート調査から】	
○私は、学校のきまりを守って、行動している。	(82.7%)
○私は、気持ちの良いあいさつを心がけている。	(85.4%)
○私は、言葉のつかい方に気を付けて話している。	(88.9%)
●私は、寝る時間、起きる時間を決めるなど、規則正しい生活を心掛けている。	(55.4%)
●私は、学校でのことを家族によく話している。	(72.9%)

（２）考察

保護者からは、学校だより、またホームページやメール等での情報提供について、９０％程度の肯定的評価を得ている。その他、学校公開、地域の人材や施設の活用をはじめとする地域と連携した教育活動については、概ね８０％近くの肯定的評価である。その一方で「杜の学び舎」の活動については、保護者だけでなく、地域の方からの評価が低い。「杜の学び舎」での活動を振り返り、より活動しやすくしていることなど、「杜の学び舎」に関する情報が十分に伝わっていないことが要因と考えられる。また、学校協議会や学校運営委員会などの活動報告をホームページで提供しているが、６０～７０％台で昨年度より改善はしているものの、地道に継続していくことが必要といえる。

（３）改善案

学校だより、学校ホームページ等での情報発信の継続は重要であり、今後も積極的に進めていく。今年度、緊急メール「すぐーる」の機能を活用し、添付可能な紙面情報を活用したペーパーレス化も含め、より早く、より詳細な情報の提供に努めてきた。今後も継続していく。「杜の学び舎」の活動についてより活動しやすくなる方法に取り組んでいる。昨年度から幼稚園・保育園との交流が始まり、幼・保・小・中の新しい取組、連携が今年度も行われている。その様子や成果をホームページ等で情報発信していく。地域の人材や施設等の活用には、学校支援コーディネーターと連携したうえで取り組んでいく。地域とともに作っていく城山小学校という点を常に意識し、共に子どもを育て、学校をつくる教育活動に向けての学校運営を目指す。